

記者発表資料

令和6年11月15日

宮城県教育庁文化財課 埋蔵文化財第二班

担当 初鹿野博之・西村 力

電話 022-211-3685

現場携帯電話 080-5737-3988

メール bunzaim2@pref.miyagi.lg.jp

大崎市「^{きたこまつ}北小松遺跡」発掘調査現地説明会の開催について

このことについて、11月23日（土曜日）の一般公開に先立ち、下記により報道機関に公開・発表いたしますので、お知らせします。

記

- 1 日 時 報道機関公開 令和6年11月21日（木曜日）（雨天決行）
午後1時30分から午後2時30分まで
一 般 公 開 令和6年11月23日（土曜日）（小雨決行）
午後1時30分から午後3時まで

2 会 場 北小松遺跡発掘調査現場：大崎市田尻小松字明神地内（別添地図参照）

3 駐 車 場 北小松生活センター（現場まで約200m）

4 説 明 者 宮城県教育庁文化財課職員

5 調査内容

北小松遺跡は、大崎市田尻小松にある縄文時代から弥生時代の遺跡です。平成19～22年度に、ほ場整備に伴う発掘調査が行われ、縄文時代晩期（2400～3000年前頃）の大崎地方で営まれた拠点的な集落として、重要な遺跡であることが分かってきました。

県教育委員会では、北小松遺跡の範囲や内容をさらに解明していくことを目的として、今年度は10月21日から11月末までの予定で発掘調査を実施しています。調査の結果、縄文時代晩期の墓とみられる遺構を複数検出し、今回の調査地点は墓域であったことが推定されました。過去の調査成果と合わせて、集落の範囲や土地の利用方法を考えるうえで貴重な成果を得ることができました。



調査地点（東から）



縄文時代の墓

